



2025年1月15日
第120号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

「2025年3月ダイヤ改正」等に関する申し入れ **申6号 提出!**

横浜地本は2024年12月25日、会社より「2025年3月ダイヤ改正および業務執行体制の見直しについて」および、「2024年度 駅業務執行体制の再構築（その3）」の提案を受けました。

今ダイヤ改正の特徴として、列車ダイヤにおいては夕方ラッシュ帯の増発や増車が図られる一方、初終電帯の運転区間短縮や閑散時間帯の減車、系統分離などが行われています。他方、駅での乗り換え利便や乗務員の労働環境については、組織再編とライン管理により、輸送計画や乗務行路作成が首都圏本部や現場に集約・移管されたことが大きな変化点となっています。また、今ダイヤ改正に合わせて乗務員による駅での車内貫通作業の箇所拡大や、駅での分割併合作業の実施についてもすでに提案されており、安全かつ不安なく業務が遂行できるよう教育・訓練を実施し、環境を整える必要があります。

この間、横浜地本ー横浜支社間においても各系統・各職場で検証したダイヤ改正後の問題点や改善策について労使議論を行い、認識一致を図ってきました。ダイヤ改正は労働環境の変化点として特に重要であり、「安全・健康・ゆとり」ある労働環境が実現されなければなりません。よって1月15日に、横浜支社に申し入れを行いました。

◆以下は申し入れ項目の概略です。

【2025年3月ダイヤ改正および業務執行体制の見直しについて】 7項目

- 乗務行路の退勤時刻の繰り上がりについて、変更した理由と内訳について。
- 乗務員の出勤数に対する波動の考え方と、今改正における変更の根拠について。
- 運転士と車掌の相互運用は要員補充として行わないこと。
- 熱海駅における本線運転士による分割併合作業の実施に関すること。
- ダイヤ改正提案時の乗務行路の提示方法が変更されたことについて。
- 停車時分、運転時分、各作業時分は実態を踏まえた設定とすること。
- ダイヤ改正に関する設備改修、周知、教育、訓練は、改正前までに終わらせること。

【2024年度 駅業務執行体制の再構築（その3）について】 6項目

- 小田原駅における乗務員による車内貫通のパターン別の作業フローについて。
- 誤乗防止対策と、運転士によるドア閉扉の作業に対する措置について。
- トラブルや遺失物が多い時の駅の応援体制について。
- 乗務員による車内貫通を踏まえたダイヤ設定について。
- 小田原駅における車両交換時の車内貫通対応について。

労働環境の変化点に対して職場議論を深めていこう!